



○シーガル号が浜益港に入港

7月22日(土)、平成9年6月から平成12年7月にかけて世界を一周したシーガル号が浜益港に入港。これは、昭和40年6月に廃止された小樽-浜益の定期航路をたどることで、過去を再評価し、未来のまちづくりについて考えるきっかけにしようといわれたもの。当日は、シーガル号への乗船体験や、船長の野村輝之氏、かつて定期航路事業に携わっていた蛭名幸四郎氏、市長の3者による対談、浜益高校での野村氏の講演などが入港を記念して行われました。

対談等の詳しい内容については市HPをご覧ください。



蛭名氏(上写真左)・野村氏(左から2番目)・市長(同写真右)による3者対談の様子。蛭名氏は「海には多くの苦労があったが、石狩はこれからも海との縁は切れない。陸の道をつくったとき、資材を海の道で運んだ。時代の流れを感じた」と言い、野村氏は「交流の拠点として『海の駅』を整備し、地域の活性化を図ることを提案していきたい」と抱負を述べました。なお、写真右から2番目は当日コーディネーターを務めた、石狩小学校の吉弘文人教諭。

○元気になるビールの話

8月6日(日)、花川北コミセンで行われた「心の休日講座」は、前サッポロビール博物館長の今堀忠国氏が講師となって、愉快でためになる「ビール人生論」を紹介。今堀氏のウクレレ演奏と、フラダンスのゆったりとした舞いも披露されました。



○特別展「浜益ニシン年代記」

浜益は江戸時代からニシン漁が盛んで、運上屋があったところは、アイヌ語で「ニシンがたくさんとれるところ」という意味の「ヘロクカルシ」と呼ばれるほどでした。明治時代になるとそれまで場所請負人のもとでニシン漁に携わっていた漁業者たちが、直接漁場を運営し、浜益はニシン漁の全盛期を迎えました。

今回の特別展では、はまます郷土資料館収蔵資料を中心に、江戸時代にさかのぼる浜益のニシン漁の歴史をたどってゆきます。

市民の子カラ

市内では、さまざまな市民活動が展開されています。市内のNPO法人など活動する団体を紹介します。



NPO法人 厚田・岩波映像資料センター 「えい・あい館」

地域住民、特に子どもたちを対象に、あらゆる分野の貴重な映像資料を広く上映し、見てもらおうと平成16年1月に法人として発足、今年で3年目を迎えました。

昨年まで毎年5月から10月まで月1回無料で2〜3本の映画を厚田村にて上映していましたが、今年の5月からは市民図書館に会場を移し、これまで以上に市民の皆さんに映画を楽しんでいただけるようになりました。

9月の上映会は北大の理学研究科、杉山教授のお話と科学映像を上映します。

「えい・あい館」にはまだ1,200本の貴重な映像資料が保管されており、市民の方々に広く知ってもらえるよう活動し、今後は年間を通して上映会を開催できるよう検討中です。

- 9月3日(日) 科学映像
 - 10月8日(日) ドキュメント映画「DRAG2001」
(覚せい剤の恐ろしさを訴える教育作品)
 - 11月11日(土) 芸術映像 ルーブル美術館
- 上映開始 各日13:30～

〒市民図書館(無料)
〒えい・あい館 札幌案内所(株)キャスト内)
☎011-622-1115

まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

○すくすく子育てスクールinいしかり

7月22日(土)にNHKテレビの「すくすく子育て」が花川北コミセンにやってきました。番組でもおなじみの小西行雄氏と番組司会者の天野ひかりさんのトークショーに始まり、赤ちゃんとのコミュニケーション体操や手作り楽器ジャズライブなど、会場に集まったお父さんお母さんたちは、お子さんと一緒に楽しみました。また、会場の外には木のすべり台やシーソーなどもあり、子どもたちは夢中になって遊んでいました。



○ぐ〜チョコランタン、石狩に

8月12日(土)、NHKテレビの「おかあさんといっしょ」の人気キャラクター「ぐ〜チョコランタン」が石狩に来て、757人の親子と楽しいひとときを過ごしました。舞台上「ぐ〜チョコランタン」の仲間たちであるスプー、アネム、ズズ、ジャコビが登場すると、ひとときわ高い歓声が上がリ、歌のお姉さんとともに「ばわわぶたいそう」などに夢中になりました。



●俳句

部屋に風入れ心太盛られけり

心太のど元すぎし早さかな

小泉

澄子

田中

五郎

句歌歳時記

市内のサークル・団体

会員募集

〒市民の声を聴く課
☎72-3153

広報いしかり11月号の会員募集記事掲載申込書の受付期間は9月20日(水)〜30日(土)です。

●広報紙への会員募集記事掲載は「年1回」です。●掲載希望の場合は「会員募集記事掲載申込書」に必要事項を記入の上、上記期間内に市民の声を聴く課窓口へ持参・郵送・ファックス・Eメールのいずれかで提出してください(先着8件まで)。●申込書は市役所1階市民の声を聴く課窓口・各支所・市民館にあるほか、石狩市ホームページからもダウンロードできます。